



白銀の世界を走る

第7回犬ゾリ大会inよもぎた

- CONTENTS
- 地域懇談会
 - 村および教育委員会表彰式
 - 消防団初午祭
 - カメラアイ
 - 川柳北緯41
 - 保健コーナー
 - お知らせ情報局
 - 児童川柳ペンシル②③
 - 行事予定表
 - 戸籍の窓口

広報

よもぎた



2000 No. 291

住民の声を 行政運営に生かす 地域懇談会開催

一月十三日から二月八日まで、村内八公民館に村長、村三役、各課長が出向き、地域住民と意見交換する地域懇談会が開催されました。
※なお◎は住民からの要望・質問で④は村からの回答です。

暖房がある。

◎国道から広瀬高根橋への道路の拡幅開通はいつ頃になるのか。

④国道からJR踏切までは、平成十二年度で拡幅される見込みである。また、平成十四年度までに拡幅完了する見込みである。

◎国道280号バイパスについて。(バイパスがよもぎ温泉までになった経緯と今後について)

④蟹田町のほうが決まらなかったため、ルートがよもぎ温泉までとなった。国・県は、ルートが決まっている所を優先するので、温泉までを早期に完成したい。温泉以北については蟹田町へのルートが決まっているので、村としても早急に検討していきたい。

◎村の簡易水道は、水がまずく、においが強く料金が低い。また水道料金については、今後も現状を維持していくのか。

◎公共の水道は、安全な水を供給することが義務づけられています。味は塩素滅菌しなければ給水できませんので、とにかく早く慣れていた方がいい。また、水道料金の値上げは、現在のところ何とも言えません。出来るだけ値上げしないよう努めたい。財政難等で村からの助成がなくなれば、当然値上げせざるを得ないと思います。

◎広瀬・瀬辺地観音様への道路整備が終わったが、今後広瀬川の河川公園が整備予定となっている。瀬辺地八幡宮から瀬辺地駅に抜ける道路整備をしたら良いのではないのか。

◎道路整備については、前向きに検討したい。河川公園(親水公園)については、平成十一年度に六百万円の調査費が計上され、平成十二年度より概算事業費二億

円です。青森土木事務所が実施する予定である。このため、用地については、地元の協力が不可欠なのでよろしくお願したい。

◎広瀬地区は高齢者世帯が多く、冬期間の雪については大変である。このため、流雪溝を設置することが出来るのか。

◎青森市の後潟地区において県の事業で流雪溝設置の計画があり、この計画に追加する形で中沢地区でも流雪溝設置の要望があり、現在調整中である。この事業の内容については、海水をポンプアップして流すものである。県の調査でも現在は、海水を利用するのが一番である。問題は、この流雪溝の維持管理であり、その地区の自治会が負担することになっている。概算で年間電気料が約四十五万円ぐらい負担しなければならぬ。これをクリアできないければ、県に対して要望す

◎国保の関係について、農家が高齢化しており、資産税割も高い。個人負担が三割は高いので、今後どうなるのか。

◎国の制度であるので、今後も変わらないものと思われる。

◎国道側溝整備負担金の内容について。

◎平成十一年度には、瀬辺地でも実施されている。平成十二年度にも瀬辺地地区を予定している。

◎小・中学校の統合は将来あるのか。また宅地造成で現在の小学校付近の畑ではできないのか。

◎近い将来も小・中学校の合併は無いのではないのか。



これからは小学校の新築も考慮しなければならぬ。また、仮に小学校が移転する場合にも、周辺地区には遺跡の関係があり、難しい。遺跡調査には、多額の村費が必要となる。

Q水道工事に伴う、国道二八〇号線の全面舗装は実施するのか。

A三月に全面舗装します。

Q村の防災無線放送が良く聞こえない。村民は皆平等である。何か良い方法はないのか。

Aあまり音を高くすると、スピーカーの側がうるさい。再度検討してみる。また、夜間は警備員が放送し、日中は担当課が放送している。担当課がテープで流すように検討する。

Q下水道は、どうなっているのか。施策を出した方がよいのではないか。

A村の計画では、百三十億ぐらいかかる見込みなので、合併浄化槽を設置して補助したい。また、今後の施策については、良い方法を検討中である。

Q住む所がないので、青森市のアパートに住んでいる。

公営住宅が必要ではないか。職員住宅も必要でないか。また、蓬田紳装の社員用の住宅も必要でないか。

A村の空き家の貸出を考えている。また、民間主導のアパート等を考慮している。

【郷沢・宮本地区】

Q蟹田の幼稚園に行っている人がいる。この理由として、サーブスが悪い、自宅前で車が止まらない、料金が高い等がある。

A蟹田町の幼稚園は、私立で三歳児から募集している。保育所の保育料に関しては、国の基準より下げている。また、幼稚園については、蓬田村の方が安くなっている。

Q施設がよくなると金がかかる。老人憩いの家については、ムダではないか。

A改修が済むと、社会福祉協議会が入る予定である。県の補助の関係で今後十四年間ぐらいは、そのままで行なう必要はないので、現在の施設を有効活用していきたい。

Q老人クラブに加入したがらない。老人という言葉が

好きではないのか。また、老人になると、村内の情報がなかなか入らない。老人パワーを利用した福祉としてのよい方法はないのか。例えば、午前中に休耕田の草刈り、午後は温泉で疲れをとるとか。

A野辺地町では、老人が野菜の選別を行っている。非常によい意見であるので、村としても今後、考慮していかねければならない。

Q減反が厳しくなってきた。荒地にした場合には、村はどうするのか。

A荒地を無くするように国は指導している。耕作できない田をどうするのか一緒に考えていきたい。今後省力化、集団化する必要があるが、農家の方も考えて欲しい。

【蓬田地区】

Q(株)蓬田紳装の出資金・定年・新採用関係について。

A昨年村から一億円、トップジェントから一千万円の合計一億一千万円が蓬田紳装の資本金です。なお、以前の村からの出資二千万円、トップジェント二千万円及

び個人出資の二十五万円を累積債務償却のために減反しております。また、定年については、分かりませんが、工場増築による新採用枠が約二十人ぐらい、まだありますのでよろしくお願ひします。

Q簡易水道の個人負担について。

A水道メーターの取り付けは終了しており、このメーターにつなぐのは無料です。また破裂の心配があるので減圧弁を取り付け、七月一日には給水する予定です。

Q子どもが少なくなってきたが、学校の先生等の削減はあるのか。

A基本的には、中学校で四十一人以上あれば二クラスとなり、一クラス減になれば先生二人が減になる。来年四月には、三人の先生が減る予定。中学校は専門教科なので教育委員会としても悩んでいる。

Q農家は経済的に大変である。減反の会議等で現在の国の農政に対する反論等は出ないものなのか。この減反が継続された場合、農家は大変である。国の言いな

りになっていないで、農家の声を届けてほしい。

A減反の会議等については、出席者が農業者でなく事務担当者なのでそういう意見はない。国の方針を説明するだけである。新たな転作については、近く説明会を開く予定。今後、米価は一万円ぐらいまで下がるのではないかと。経費を下げる手段を講じる必要があり、振興組合、農協等と相談しながら行いたい。

Q転作大綱が変わっているのに農業委員会でも力を入れて、田の貸し借りの関係を見直してほしい。

A従来は個人的に貸し借りをしている。各地区の分を農業委員会で取り仕切ることは考えていない。小作料の見直しを行い下げている。今後は状況を見ながら見直していく。

Q物産館「マルシェ」への加入について。

A現在、会員六十名で、スペースの関係もあり、友の会の会員は打ち切りたい。欠員が出た場合に募集する。友の会の野菜部会の会員は三十九名で、うち個人会員

は三十五名である。

【阿弥陀川地区】

◎阿弥陀川の小学校の下の宅地造成の具体的な内容について。

①過疎化対策として村の活性化を図る。今の阿弥陀川の団地の北側に展開する。計画されている区画は、約六十三区画で面積で約二・五ヘクタール、公園、道路、防風林、緑地帯等を整備する。また墓地も一坪程度を提供したい。事業費は、全体で約三億円見込んでいます。今後の手続きとして、農地転用、用地買収等の手続きがある。十二年十月から来年三月までに造成工事に入る予定。汚水と家庭排水の処理に関しては、合併浄化槽を每户に義務づけたい。この場合、役場でも補助等支援策を検討中です。

◎国道二八〇号バイパスと小学校通りの交差について。

①交差の長さは、約三十五メートルで、小学校の児童については、地下通路を通ってもらう予定です。

◎国道二八〇号バイパスの

件ですが、長科の方では今現在かなりの段差があるが、長科より北については、どうなるのか。

①阿弥陀川の小学校通りについては、平面交差になるが、その代わり信号機がつく予定。他の交差点については、事故防止のために、バイパスが盛り上げられている。

【長科地区】

◎元気な高齢者の健康と生きがいづくり対策について。

①高齢者教室を開催し活動いただいている。高齢者の技能を生かしたシルバー人材バンクについては、社会福祉協議会とも今後協議をしていきたい。山野草、山菜、きのこについて講習会を開いたが、かなり関心が高い。近年は六十歳で定年を迎えた農業以外の人もかなり村にいます。そのような人の技能を生かせるようなパート登録制とかをつくり人材派遣するなど、生きがい対策につながる施策を今後検討していく。村では農業の集団化を進めている。生まれる子どもが減り、将

来の農業の担い手も少ない。これからは元気な高齢者を活用していきたい。

◎村の将来の財政について、どの程度が分岐点となるのか、町村合併については。

①国の財政が厳しくなり、地方交付税の配分も減っている。赤字団体となると合併の指導も強化されるので、事業の見直し等で、できる限り合併しないでやっていく方向を取りたい。

◎県営中沢・長科担い手育成事業については、村が負担金を出しているだけか。

①暗渠のことで時々もめ、県と地権者との話しが噛み合わない時がある。事業主体は県であり、入札等に直接村が関与することはないが、皆さんの要望を県に伝えながら村は負担金を出している。地権者が改良区に行ったら、対応してくれるように要望する。

◎国道二八〇号バイパスの件ですが、広瀬地区から蟹田町までの道路が崩壊した場合を考えると、事態は深刻である。蓬田村ばかり良くて、早期に蟹田までの認可

がおりるよう強い運動をして欲しい。

①高根の張山から道路をつくって、蟹田の桜町まで突き破ることにしていた。ところが蟹田の桜町にバイパスを通すのはためだということ、工事が中断した経過がある。蟹田町の事情により、広瀬からの線引きができていない。蟹田町では二月二十二日に知事に陳情する決起大会が開かれるので、話しはまとまると思われ。蟹田町までは平成十九年を想定している。よもぎ温泉までは平成十四年までにやる予定。

◎米余りの時代の中で、売れる米をつくる必要がある。付加価値のついた米づくりとして、村ではどういふものを考えているか。

①堆肥センターの完成により、有機米栽培等が考えられる。堆肥センターは、ライスセンターの稼働が終わってから完成したため、そんなに多く堆肥は作れない。トマトや田んぼに使い、有機米として売り出す方向で農協と話し合っている。

◎籾殻をつかった堆肥であ

り、田んぼに水をはった場合籾殻が浮くのではないか。それが海へ流れていく心配はないのか。米でもトマトでもコスト高になるのではないか。

①籾殻、米糠、牛糞等を使って堆肥をつくる予定。また試験的段階であり、どの程度の成分のものできるか研究が必要。農家の人が使いやすい値段の設定を考えている。袋詰と農家の人が使いやすいようにバラ売りの二方法を考えている。肥料会社等と更に研究を進める。堆肥センターの堆肥は、土壌改良にきくので三年ぐらい使わないと効果が表れないのではと考えている。転作田に今後何を植え付けていくかを研究しながら、安くて使いやすい効果のあるものを目指していく。

◎堆肥センターが年間稼働すれば、どのくらいの量のものが生産され、どのくらいの経費がかかるのか。

①今の予定では、袋詰めで四十リットルを五百円、バラ売り一トン当り八千円で試算している。価格の設定については、農家が買いや

すい価格を考慮します。

【中沢地区】

Q コミュニティバスを冬期間だけでもスキー場へ運行することはできないか。

A 運転手が二人であり、制約もあるので難しい。これからは日曜・祝日にスキー場へのバス運行を検討します。

Q カメ虫の件ですが、昨年補助金が出ていますが、今年度はどうなるか。また、今年度は増額になるのか。

A 今年も対応したいが、財政的にも厳しいので、実効あるカメ虫対策をしたい。増額することは難しい。減ずることは無いと思われる。昨日もここで新しい生産調整の会議があり、この中でカメ虫の問題が出て、県内には二種類のカメ虫があり、発生状況も若干違う。このへんを検討して生態に合わせた防除方法を検討しなければならぬ。

Q 農業者年金については、年金が安くなることですが、今よりも下がらないことで町村長等の間で話さないものか。下げないこ

とで強力に運動してほしい。

A 町村長の間で話は出ている。また議会の方でも陳情という形になってくると思う。全体的に運動を盛り上げて行かないと阻止出来ないのではないか。今後は農業委員会を中心に運動を進めていきたい。

Q 子どもたちも少なくなっているが、蓬田の自然を生かした教育の方法はどれくらいやっているものなのか。

A 平成十四年度から完全週五日制になる。通常の授業が二時間ぐらい少なくなる。今後は、地域の得意分野の方の人材を活用しながら、自然を生かした教育を進めていきたい。また地域の家庭教育を充実させたい。現在学校がクラブ活動等のために一週間を抱えているので、土・日は子どもたちと地域が接触していく。スポーツに例えるならば、ヨーロッパみたいなクラブ活動等を行う。文化・芸術にも体制づくりが必要である。

Q 船揚場の砂の問題、砂のつかなくてもよい所に砂がつき、砂のついて欲しい所に砂がつかないので建設省

に改良要望をしてもらいたい。また北側の乗り場に行く通路が狭く長みもないので作業がしづらい。これを広げる許可をもらうことは出来ないものか。

A 建設省では海岸保全で砂をつけることとしている。これは堤防を守るためである。中沢地区においては、建設省としては海岸工事については終了した。船揚場に関しては、漁協の方で調査している。従って船揚場に全部おさまると解釈している。このため、許可は出るが、金は出さない。自己負担になる。建設省では、新たに地域住民に使いやすい海岸をつくるプロジェクトを出していますが、その中身については、まだ分かりません。砂除去の補助金については、県・村・受益者がそれぞれ負担して実施しています。県の方では平成十四年ころにはこの補助金を打ち切る予定である。その場合、村がその分まで負担するのは困難になるのではないか。

Q 中沢川改修工事の幹線の橋の工事についてですが、

橋の取り付けを時間的に早く完成して欲しい。

A 財政が厳しいので、一回では困難である。やり方としては二年計画で稲刈り後、下部工、三月下旬に上部工を前倒して発注したい。稲刈り後から田植えまでの期間でできないものか考えている。

Q 除雪の件ですが、船揚場まで除雪することはできないか。船への給油が届かないので、幅を広げながら実施してほしい。

A 中沢地区では、山口さんの北側から川まで実施している。利用の問題で、生活道路であれば実施している。拡張する場合でも、道路に漁具等を置かないで、除雪車が入れるように整理整頓してほしい。皆さんが注意してほしい。

Q 玉松太鼓の会員募集の件ですが、どうなっているのか。また今後について。

A 現在、六人の申し込みがあります。うち子どもは四人です。今後は、ふるさと総合センターで会をつくって、始めていきたい。

Q 介護保険についてですが、

加入については強制なのか、任意なのか。また年金から控除されるが、その額は幾らになるのか。

A 加入については、強制です。また、保険料については、国の段階で掛金はまだ決まっていません。介護保険については、四月に説明会を開きます。

Q 海に魚礁を入れたらよいのではないか。県の方に要望してほしい。

A 新沿岸漁業構造改善事業の実施により対処したい。また、この事業の内容については、漁協の方と詰めた。なお、実施については、平成十三年度以降の予定です。

ご要望いただきました。ご意見を尊重し、村政に反映させたいと思っております。財政的な問題がありますが、実施にあたっては、今後十分検討させていただきます。と思います。



平成十一年度 蓬田村表彰式
蓬田村教育委員会表彰式

平成11年度 村および村教育委員会 表彰式

▲村表彰受賞者

一月二十四日、平成十一年度の自治功労表彰と文化・スポーツの教育表彰式が村ふるさと総合センターで行われました。

本年度の村特別功労表彰及び功労表彰には長年、政治、経済、社会、各般にわたって活躍された八人と善行者表彰一人。また、村教育委員会表彰には、芸術・文化・スポーツなどの分野で功績のあつた五人、一グループ、四団体がそれぞれ受賞しました。

式には受賞者をはじめ関係者が出席し、式の後、記念写真を撮影、懇親会で受賞者を囲みお祝いしました。受賞された方々は次のとおりです。(敬称略)

村 表 彰

【特別功労表彰】

▼津島 鐵男 (蓬 田)

○村議会議員を連続六期、この間議長を二期、また県議長会会長に就任。地方自治の発展と村社会福祉の向上に多大の貢献。

【功労表彰】

▼坂本 豊 (中 沢)

○長年にわたり、村議会議員として地方自治の振興に

貢献。

▼坂本三千雄 (中 沢)

○長年にわたり、村納税貯蓄組合連合会役員、村消防団副分団長として地方自治の振興に貢献。

▼吉田 一郎 (中 沢)

○長年にわたり、村農業委員会委員、村消防団分団長として地方自治の振興に貢献。

▼森 繁春 (阿弥陀川)

○長年にわたり、村国民健康保険運営協議会長、村納税貯蓄組合連合会役員として地方自治の振興に貢献。

▼工藤 弘 (蓬 田)

○長年にわたり、蓬田自治会長及び村消防団副分団長として地方自治の振興に貢献。

▼宮田 千春 (蓬 田)

○長年にわたり、村国民健康保険運営協議会委員、村農業協同組合監事として地方自治の振興に貢献。

▼八幡 貞雄 (高 根)

○長年にわたり、村納税貯蓄組合長、村国民健康保険運営協議会委員として地方自治の振興に貢献。

【善行表彰】

▼山館 きぬ (瀬 辺 地)

○村社会福祉協議会に多額の金員を寄贈。

村教育委員会表彰

【芸術文化賞】

▼藤本妃呂美、武井 友美、畠山友里恵 (中学三年)

○音楽コンクール重唱の部において優秀賞を受賞し、東北大会出場。

▼青木 幸子 (阿弥陀川)

○県立中央高校演劇部で活躍、東北大会団体の部で優秀賞を受賞。

【スポーツ賞】

▼藤田 祐己 (中学三年)

○第五十回県中学校体育夏季大会三種競技Bの部において、第一位。

▼吉田 健 (中学三年)

○第五十回県中学校体育夏季大会走り幅跳びの部において、第一位。

▼柿崎誉志生 (中学三年)

○第五十回県中学校体育夏季大会三種競技Aの部において、第一位。

▼田中 節香 (中学二年)

○第九回県中学校新人陸上競技選手権大会走り幅跳びの部において、第一位。

▼蓬田中学校男子陸上部

○第五十回県中学校体育夏季大会男子総合の部において、第三位。

▼教育委員会表彰受賞者

て、第三位。

▼中沢子ども会

○第七回県チャレンジ・ザ・ゲーム大会で、リングキャッチ、パスアンドゴーの部において、第一位。ロープジャリング、エンジヨイパスラリーの部において、第三位。

▼長科子ども会

○第七回県チャレンジ・ザ・ゲーム大会で、エンジヨイパスラリー、パスアンドゴーの部において、第二位。

▼蓬田子ども会

○第七回県チャレンジ・ザ・ゲーム大会で、キャッチングザスティックの部において、第三位。



平成十一年度 蓬田村表彰式
蓬田村教育委員会表彰式



防災の決意新たに

初午祭

二月六日、村消防団（吉田初男団長）は今年一年の防災を祈念して、初午祭（出初め式）を行いました。

午前七時三十分、サイレンの合図で団員は村内八地区から出動、第三分団消防コミュニティセンター前に百三十二名が集合しました。そして直ちに出勤人員を報告し、殉職消防団員に黙とうを捧げました。

引き続き、古川正隆村長、佐藤隆蟹田警察署長、清水信造村議会議長、神山久志県議会議員から姿勢・服装の検閲を受け、来賓、住民が見守る中、センター前から蓬田駅までの区間を堂々と分列行進し、士気を高めました。

役場前に移動して機械・器具の点検が行われ、係員がきびきびした動作で点検、異常ないことを報告しました。古川村長が「日ごろからの防災活動に敬意と感謝を申し上げます。村民の財産を災害から守るため今後ますます精進してください。」とあいさつ。昨年一年間の出勤状況が良好で機械・器具等の管理が模範と認めら

れた第一分団（中沢）を優良分団として表彰し、初午祭を終了しました。

この後、ポンプ自動車で村内をパレード、団員は毎戸を巡回して「火の用心」を呼び掛けました。



蓬田村公共施設

合同落成式

一月二十七日、ふるさと総合センターにおいて村公共施設合同落成式が古川正隆村長、木村守男青森県知事はじめ関係者百人が出席し盛大に行われました。落成の運びとなった施設は、「ふるさと総合センター」「ライスセンター」「堆肥製造施設」「マルシェよもぎた」「蓬田中学校」です。

式の前に各公共施設の安全祈願祭が行われ、村・工事関係者が事故のない安全な施設であるように祈願しました。式では村長が「関

係各機関、工事関係者の皆様には多大なご支援、ご協力を賜り、立派な施設が完成したことを心から感謝します。」と式辞を述べ、来賓祝辞のあと各施設的设计施工業者に感謝状が手渡され、施設の落成を祝いました。

これらの施設は、村の福祉や教育文化の向上、国際的競争に耐えられる農業・産業の振興に大きな成果をあげ、村の活性化につながるものと期待されています。



カメラ



アイ

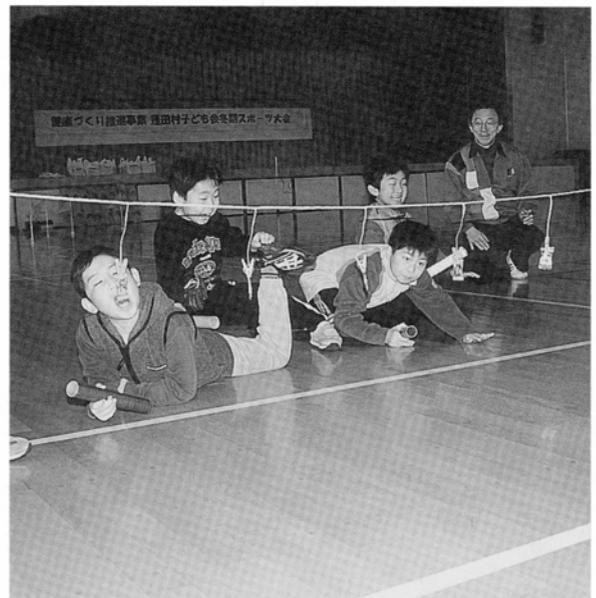
子ども会冬季スポーツ大会

2月6日、農業者トレーニングセンターにおいて、子ども会冬季スポーツ大会が開催されました。

これは役場住民課の健康づくり推進事業と子ども会の共催で、スポーツやゲームを通して、健全な精神と身体の育成、各地域子ども会の交流と親睦を図る目的で行われました。

当日は子どもたちと子ども会育成者70人が集まり、村子ども会育成連絡協議会（坂本勇一会長）手作りのゲームの用具を使い、ロープジャンプ10、ピッタシカンカン競争などの各種目に元気いっぱい汗を流しました。

また、村子ども会育成連絡協議会では来年度もいろいろな行事を計画していますので、たくさん子どもたちと育成者の方々の参加をお願いします。



村民スキー大会



2月20日、村営スキー場において、村民スキー大会が開かれました。

小学生から大人まで30人が参加し、スキーの大回転やスノーボードのスラローム競技に熱戦を繰り広げました。入賞者は次のとおりです。（敬称略）

▶スキー大回転

●小学生男子

①川崎 琢也 ②工藤 泰三 ③福土 勇輔

●小学生女子

①高木 美佳 ②森 千佳子 ③今 美幸

●中学生男子

①工藤 和磨

●一般女子

①八戸 智子

▶スノーボードスラローム

●フリー

①藤田 哲啓

元気なかつちの味自慢・うで自慢



1月20・21日、青森市のアスパムにおいて、第5回元気なかつちの味自慢・うで自慢が行われ、蓬田村からは4人の元気なかつちが参加し、真心こめて作った加工品を即売しました。

名人実演試食会では、昨年の農水産物加工品コンクール大賞者の2人が自慢の料理に腕を振るっていました。

また、今年のコンクールに村内から9作品出展し、計89点で出来栄を競い合いました。その中で坂本睦子さんの「手づくりがんもどき」と福士とみゑさんの「おばあちゃんの初恋漬」が奨励賞に選ばれ、受賞式では大きな拍手を浴びていました。

愛の献血ありがとう

2月4日、県赤十字血液センターの巡回車が村を訪れ、役場前で献血を行いました。

今回の献血には村内外47人の皆さまから、ご協力をいただきました。

善意の献血ありがとうございました。

次回の献血は6月の予定です。またのご協力をお願いします。



鬼は外、福は内



節分の2月3日、幼稚園児21人による豆まきが役場庁舎内で行われました。

村職員が鬼やキティちゃんの面を着け、園児たちを追い回すと、園児たちは「鬼は外、福は内」の大きな掛け声とともに鬼たちに力いっぱい豆をぶつけていました。



- サンマ焼く けむの向こうは 二千年
- 釣りに行き 買った魚で 帰宅する
- 年一度 親父振る舞う ジャッパ汁
- 鯛よりも イワシが重宝 老の骨

- 富 昭 藤
- 栄 夫 子
- 魚より 肉をほしがる 漁師の子
- 世話になる 嫁に年金 けでもどる
- 介護され 初めて分かる 嫁の良さ
- 話かけ ながら笑顔の 介護受け

- 年 勝 森 飄
- 栄 子 勝 一

二月一日現在で行われた二〇〇〇年世界農林業センサスも無事終了することができました。
農家世帯の皆さん御協力ありがとうございました。
また、指導員・調査員の皆さんお疲れさまでした。

平成十一年度

生活習慣病予防教室開催

あなたの生活習慣は大丈夫？

「生活習慣病」とは、長年の私たちのよくない生活習慣の積み重ねにより起こる病気であり、がん、脳卒中、心臓病、高血圧、高脂血症、肥満等がこの生活習慣病に含まれます。

蓬田村においても毎年行われている健診の結果では高脂血症の疑いの人が一番多く指摘されています。この高脂血症は血液中のコレステロールや中性脂肪が高い状態をさしており、これらの脂肪分が高すぎると動



真剣なまなざし…

脈硬化を引き起こします。また、脳卒中による死亡も依然として高い割合を示しており、この脳卒中や心臓病、高血圧等の原因の一つとして動脈硬化があげられます。

このようなわが村の実態から、動脈硬化予防の方法を知ってもらい、健診結果を一人ひとりの生活に生かし、健康づくりの役に立ててもらうことを狙いとして平成十一年度生活習慣病予防教室を十一月から一月にかけて三回実施しました。



みんなでスクワット！ イチ・ニ、イチ・ニ

疲れていませんか？ あなたの心

～3月15日から3月21日までは「こころの健康づくり週間」です～

社会環境の変化、職場や家庭での人間関係等私たちの生活にはストレスの原因となることが常に潜在しています。このストレスがたまると神経系やホルモン系に変調が生じ、様々な症状が現われてきます。自律神経失調や頭痛、高血圧症、胃・十二指腸潰瘍等様々な病気の要因の1つとしてストレスがあげられているのです。また、心を病んで、軽いうつ症状になったり、ノイローゼや不安神経症になることもあります。

そのため、日々のストレスはその日のうちに解消して、ためないことが心身を健康に保つコツです。

〈ストレスをためない生活〉

- ① 昼型生活…今、夜型生活をしているあなたは昼型の生活に改善しましょう。そして、スムーズに就寝できるように就寝前2時間は入浴や音楽、読書などでリラックスしてみたいかがですか。
- ② 1日3食…1日3食決った時間に食べるのがベスト。また、夕食時に食べ過ぎ、飲みすぎると入眠しにくくなるため、夕食は軽めにしましょう。
- ③ イライラを吐き出す…ストレスの原因はほとんど人間関係によるもの。人間によって起こったストレスは人間によって解消するのが一番です。本音を言える相手を見つけてお互いに思うことを存分に言い合えるようにしましょう。それでも言いにくいことは、トイレや風呂の中、車の運転中、散歩の時など一人になれるときに言ってしましましょう。
- ④ 遊ぶ…ストレスがたまったら友人とカラオケボックスに行ったり、趣味のことを一生懸命やるのもリラックスにはよい方法です。

ここで紹介したことはストレスをためない生活のほんの一部の例ですが、皆さんも自分にあったストレス解消法を見つけてください。

平成12年3月15日から21日までの1週間は「こころの健康づくり週間」です。

【疲れたら、つくる「こころの休養日」】この機会に皆さんも自分のストレス状態を把握し、ストレスへの対処法を会得してみたいかがですか。

一回目は十一月三十日に青森保健所の木村保健医長を講師に迎え「脳卒中や動脈硬化を遠ざける生活」というテーマで、二回目は十二月二十一日に青森保健所の磯嶋栄養士を講師に迎え、「生活習慣病予防の食事―食事―」というテーマで講演していただきました。三回目は青森市文化スポーツ

振興公社の高坂真哉氏を講師に迎え、「日常生活の中でできる運動について」というテーマで家の中でも楽しくできる運動をまじえながら学びを深めました。特に第三回目の運動に関する講話と実技には大変多くの村民が参加し、熱心に指導を受けました。講師の先生から「運動は個々の能力・体力にあわせて無理

のない程度に継続して行うことが大切である。」と助言があり、参加者は自分でできることから徐々に始めていこうと目標を新たにし、解散となりました。今回参加できなかった皆さんも老若男女を問わず、もう一度自分自身の生活を見直し、生活習慣病を予防しましょう。

老人保健制度のお知らせ

70歳（一定の障害のある人は65歳）以上になると老人保健制度で医療を受けることとなります。70歳の誕生日を迎えたら、必ず14日以内に市町村へ届け出て、「健康手帳」の交付を受けましょう。

●老人保健で医療を受けはじめるとき

70歳の誕生日の翌月から老人保健で医療を受けます。ただし、誕生日が月の初日である場合は、その月から適用が開始されます。

○例えば同じ10月生まれでも

△10月1日が誕生日の人 →10月から適用開始

△10月2日～31日が誕生日の人→11月から適用開始

●お医者さんにかかるとき

医療機関の窓口で保険証・健康手帳・医療受給者証を提示してください。

○国保への加入はそのままです

老人保健制度の対象となっても、国保を脱退するわけではなく、医療については老人保健で診療を受けるということで、国保加入者の資格はそのままです。

※医療費を大切にするため「食生活の改善や適度な運動」をして、健康づくりに努めましょう。

国民年金からのお知らせ

国民年金保険料の納め忘れはありませんか

国民年金は、老後の生活を保障する制度で、20歳から60歳になるまでの40年間納めることになっています。

皆さんは、保険料を毎月きちんと納めていますか。中には「ついうっかり」納め忘れたという方もおられるのではないのでしょうか。「ついうっかり」で、せっかくの年金が受けられない、または、年金額が少なくなったりすることのないように、必ず決められた期日までに納めましょう。

口座振替や納付組織を活用した便利な納付方法もあります。

なお、保険料の納付が困難な場合もそのままにしないで、一度、役場国民年金係までご相談ください。

◆国民年金保険料を前納しますと

3,850円お得です！

◆4月中（4月28日まで）に国民年金保険料を1年分まとめて納付すると、毎月納付した場合に比べ3,850円安くなります。

◆国民年金保険料の口座振替も受け付けております。月々納める手間が省け、納め忘れも防げる大変便利な「口座振替」をご利用ください。

【お問い合わせ】

蓬田村役場 住民課 国民年金係

☎0174-27-2112



お知らせ

情

報

局



役場水道課からのお知らせ

蓬田村では、下記の11社（平成12年1月31日現在）を蓬田村指定給水装置工事事業者と指定しました。

○蓬田村指定給水装置工事事業者

番号	会社名・代表者	住 所	電話番号
1	張山水道設備 張 山 幸 男	東津軽郡蟹田町大字大平字沢辺41-1	0174-22-3617
2	相内管工設備 相 内 實	東津軽郡今別町大字山崎字山崎117-15	0174-35-3422
3	株東青設備工業 亀 田 タツ子	東津軽郡平内町大字小湊字下槻15-6	017-755-5553
4	(南)小鹿設備工業 小 鹿 一 義	東津軽郡蓬田村大字長科字川瀬31-2	0174-27-2438
5	(南)アスモ 溝 江 武 次	青森市富田二丁目20-12	017-782-2173
6	株中央設備 佐々木 忠 春	青森市旭町二丁目7-10	017-774-6629
7	管工事業田中水道 田 中 武 志	東津軽郡蟹田町大字蟹田字丑ヶ沢5-10	0174-22-2451
8	株マルケン住設 千 葉 健 一	青森市大字駒込字月見野377-3	017-743-2080
9	株第一管工 奥 谷 秀 樹	青森市大字浜田字玉川187-4	017-776-3881
10	株田浦建設 桶 田 武	東津軽郡蓬田村大字瀬辺地字田浦139-41	0174-27-3380
11	株神環境設備社 神 良 則	青森市大字石江字三好131-15	017-781-4187

恩給や共済年金の受給者の皆さまへ

国民生活金融公庫では、恩給や共済年金を受けていらっしゃる方を対象に、年金を担保とする融資を取り扱っています。

制度の概要は次のとおりです。

ご 融 資 額	250万円以内（ただし年額の3年分以内）
お使いみち	住宅・教育・レジャーなどの資金や事業資金
利 率	年2.0%（平成12年1月28日現在）
連帯保証人	1名以上
担 保	恩給または年金の証書をお預かりいたします。
ご 返 済	ご返済金としてお客様の恩給や年金を公庫が受け取ります。

【お問い合わせ先】

国民生活金融公庫 青森支店 恩給係

☎017-723-2331

「家庭の日」と

「ノー行事デー」

青森県では、毎月第三日曜日を「家庭の日」とし、五月の第三日曜日を「ノー行事デー」とする要綱を定めました。

【家庭の日】

家庭は、夫婦・親子が愛情と信頼の絆で結ばれ、子どもが安心して成長している『ぬくもりのある生活の場』です。

近年、児童虐待や家庭内不和などが問題となつていきます。

家庭を改めて認識する必要があるということから、毎月第三日曜日を「家庭の日」としました。

大人がもつと子どもに接する時間を持つように心がければ、子どもも変わってきます。

家庭の日には、家庭づくりについて、家庭内で考え、話し合い、楽しみ合い、協力し合いましょう。

【ノー行事デー】

県民が家庭で過ごす時間を充実させるために、年一回、県が一切行事を行わな

い日として、五月の第三日曜日を「ノー行事デー」としました。

家庭のことだけのために過ごす一日にして、ぬくもりのある家庭づくりを進めましょう。

県営浅虫水族館からの

お知らせ

現在、水族館ではクリオネ十匹を展示しております。

クリオネ（体長三センチ位・体の尾部はオレンジ色・体が半透明・ミジンウキマイマイを餌とし、自身は鯨類その他の天然餌料となっている。）は、オホーツクの流水と共に知床沿岸にやってくるもので、「氷の妖精」とも言われ、人気を博しています。

厳寒の流水の海の下に息衝く神秘的で美しい姿は、見る者に感動を与えます。

三月末まで展示しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

【お問い合わせ先】

浅虫水族館 総務課

☎017-752-3377

住宅金融公庫からの

お知らせ

住宅金融公庫の住宅ローンをご返済中で、最近の不況に伴う失業や収入の減少などで返済にお困りの方に対しては、次のような返済方法の変更を実施しています。

★返済期間の延長

（最長十年）

★元金据置期間の設定

（最長三年）

★元金据置期間中の

金利引き下げ

お取り扱い期間は、平成十三年三月末までです。

【お問い合わせ先】

住宅金融公庫東北支店

☎022-227-5003

または、

ご返済中の金融機関の相談コーナーまで

人口動態職業・産業調査に

ご協力を

厚生省では人口動態調査を毎年実施しています。この調査は皆さんからの出生・死亡・死産・婚姻および離婚の各届け書をもとに、出生や死亡の状況などを調べるものですが、国勢調査の行われる年には、届け書に職業の記入もお願いすることとしております。また、死亡届には、併せて産業の記入もお願いします。

調査結果は、今後の保健福祉の向上に役立たせるための統計資料として利用されます。

本年は国勢調査の年であることから、届け出をされる方々にはご面倒をおかけしますが、ご協力くださるようお願いいたします。

○調査期間

平成十二年四月一日から十三年三月三十一日まで

○調査対象者

出生・死亡・死産・婚姻

・離婚届を出される方

※役場窓口へ「出生届・死亡届・死産届・婚姻届・離

婚届をされる方にお願ひ（職業・産業例示表）が備え付けてありますので、参考の上、記入をお願いします。また、分からない場合は、窓口でお聞きください。

事業主の皆様へ

労働保険の申告・納付はお済みですか？

平成十一年度確定保険料の申告の時期となりました。平成十二年度概算保険料の申告の時期となりました。び保険料の納付期限は五月二十二日です。

お早めにお近くの銀行・郵便局等で手続きしてください。

なお、申告・納付が同時にできないときは、黒刷りの申告書は最寄りの労働基準監督署または青森労働局へ、ふじ色刷りの申告書は青森労働局へそれぞれ提出し、納付についてご相談ください。

【お問い合わせ先】

青森労働局労働保険徴収室

☎017-734-4145



児童山柳 第23回

ペンギン



題「クリスマス」
天位 5年
山館 紗織さん

佳作

クリスマス彼氏にふられた一人
クリスマス今年是不景気になるしみます
クリスマスツリーがキラキラわらわらてる
クリスマスハゲた人がねアデランス
クリスマスねずみにケーキくわれたよ
クリスマスツリーがしゅやくきれいだな
クリスマスサンタの正体お父さん
クリスマスサンタの正体だれだろ
ふゆやすみはやくこいこいクリスマス
クリスマスげんきいっばいゆめをみた
トナカイは冬をはこんでくるんだね
クリスマスサンタがにわでパーベキュー
サンタさん冬じゃない日はどうしてる
いつもよりくるのはやいなサンタさん
サンタさんたのんだものをくださいな
クリスマススベるがきれいになりひびく
クリスマスうたをうたってやってくる
クリスマスまどの外にはおじいさん
サンタさんふとるなそりがこわれるぞ
クリスマスサンタが家でさがしもの
クリスマスサンタがうちでねていたぞ
クリスマスサンタの正体つきとめる
おおきなねくつしたさげてまってるよ

5年 坂本友紀乃
6年 坂本 宣仁
5年 小山 竜
4年 久慈 竜哉
4年 小 裕也
2年 八戸 菜摘
5年 工藤 優哉
4年 久米田吉弘
1年 沼田 恵李
1年 加藤 千愛
5年 大宮 由子
4年 古村 正
3年 吉崎 彩奈
2年 三上 匠
5年 越田 智子
2年 山 暁希奈
1年 山 久慈 楓
4年 細谷 健人
3年 高松 尚太
4年 坂本美沙子
4年 高田 圭介
5年 山館 紗織

五客

☆人位
☆地位
☆天位



選評 傘松川柳同好会長

わびきん石さん

二四五回のクリスマスがありがとう。でも、ほとんどが「クリスマスはやくこい」で、気持ちにはわかるけど、楽しくなかったぞ。もう少し、こころの中を見せて下さい。そうすると、おじいさんにドンとつたわってくんなだけだな。
人位 サンタの正体知っていたんだね。「お父さんのサンタがねていた」なんて書かないところがすてきだよ。
地位 圭介くん、サンタの正体わかりましたか。そうです、サンタはやっぱりサンタなのです。
天位 「おおきなねくつした」が、よかった。紗織さんは、「サンタ」も「クリスマス」も使わないで、ストレートにおじいさんにぶつかってきても、この場合「おおきなね」の「ね」は、いらなかった。みんなも気をつけてね。

テレホンガイド

● 役 場	27-2111	トレセン	27-3010	●
FAX	27-3255	よもぎ温泉	27-2170	
教育委員会	31-3111	中央公民館	27-2076	
FAX	31-3112	保育所	27-2180	
ふるさと総合センター		幼稚園	27-2042	
	31-3200	小学校	27-2069	
マルシェよもぎた		中学校	27-2038	
	31-3040	社会福祉協議会	27-2828	
● スキー場	27-3090			●

3 MARCH

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



3月行事予定表

開催日	曜日	行 事 名	場 所	時間	担 当
3/1	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	中央公民館
"	"	1歳6カ月・2歳児健診	"	13:00	福祉課
6	月	書道教室	中央公民館	13:30	中央公民館
7	火	老人精神保健講習会&高齢者教室	ふるさと総合センター	10:00	福祉課・社会教育課
8	水	陶芸教室	"	13:00	中央公民館
13	月	書道教室	中央公民館	13:30	"
14	火	講演会「農業・農村におけるパートナーシップ推進について」	ふるさと総合センター	14:00	農林水産課
15	水	陶芸教室	"	9:00	中央公民館
22	水	書道教室	中央公民館	13:30	"
23	木	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	"
27	月	書道教室	中央公民館	13:30	"
29	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	"

戸籍の窓



人口と世帯数
(1月31日現在)
総人口 3,696人
男 1,760人
女 1,936人
世帯数 1,086世帯

1月受付分

お誕生おめでとうございます

高田 咲 (一二三 綾子) 二女
福井 悠乃 (勇人 美里) 長女
吉田 小雪 (修子 順子) 二女
木戸 大幹 (良治 明子) 長男

ご結婚おめでとうございます

(武井 洋介 (蓬 田)
小塚 貴子 (青 森 市))

おくやみ申し上げます

坂本富美慧 (郷 沢 64歳)
矢島 ひさ (中 沢 84歳)



蓬田中学校では毎年、進路指導の一環として1学年と2学年が村内、青森市の会社、事業所等で職場見学をしています。

それに伴い11月19日、1学年の生徒が二唐久さん(蓬田)宅に訪れ、刀鍛冶を行う仕事場を見学しました。生徒たちはめったに行かれない、見られない仕事場に入り、また、高価な刀に接することができたとたいへん感激していました。

二唐さんは、「今回見学できなかった生徒にもまた機会があればぜひ見学させたい。生徒数人で見学に来れるのならいつでも連絡してほしい。」と話していました。

蓬中一学年 刀匠・二唐久さんの 仕事場見学

農業・農村におけるパートナーシップ推進事業 蓬田村の農業の未来を一緒に考えてみませんか？



講師
見城美枝子氏

- ・エッセイスト
- ・ジャーナリスト
- ・青森大学教授

- 日 時…平成12年3月14日(火曜日)
午後2時～
- 場 所…村ふるさと総合センター
多目的ホール

【事業の概要】

全国の農村における農業就業人口の6割を女性が占め、農業の重要な担い手でもあると共に、農産物加工や直売所活動なども積極的に行うなど、農村地域の活性化に大きく貢献しています。しかし、その評価や意志決定への参画は十分とは言えない状況です。

そこで、村では農林水産省の補助事業を活用し、農業・農村パートナーシップ推進事業(男女共同参画推進事業)を実施し、農村女性の地位向上や魅力ある農業の確立を目指して各種事業を行っております。

今回は、事業の普及・啓発を兼ねた講演会を行いますので、住民の皆さんのご来場をお待ちしております。

編集後記

広報の発行が遅れ、二・三月合併号になったことをお詫びします。
今年度ももう終わり、学校では、終業式そして入学式を迎えるシーズンになりました。
雪が溶け、春は新しい生活のスタートです。